

uates 16: 61-67, 1978.

5. 著書

1) 山本恵一：仙骨腹腔（合併）式直腸切断術・陣内伝之助，村上忠重編集，腸手術のすべて・下巻 1009-1023頁，金原出版，1978.

2) 山本恵一：成人の肺手術後の管理．弥政洋太郎編集，胸部外科のICU，28-48頁，日本胸部外科学会卒後教育委員会，1978.

外 科 学 (2)

教 授	藤 卷 雅 夫
助 教 授	伊 藤 博 次
助 手	田 沢 賢 一
助 手	斉 藤 寿 一
助 手	真 保 俊

1. 研究概要

1) 藤卷：食道・胃の悪性腫瘍の臨床病理学的研究を中心に行っている。

2) 伊藤：肝臓，胆道，膵臓疾患を研究対称としているが，特に切除不能の肝癌に対する門脈枝結紮に関する研究を現在行なっている。

3) 田沢：結腸，直腸の悪性腫瘍が研究対称であるが，これまで新潟県の人工肛門造設患者のアフターケアに関しては中心的な役割りを演じてきた。

4) 斉藤：外科的内視鏡の研究を中心に行って来て，これまでも食道粘膜下造影法を開発し約 100 症例に実施して，その有効性を立証した。今後は，人工食道の開発，代用食道としての種々の臓器別の差異などを研究テーマとしている。

5) 真保：実験的，臨床的に組織培養を使用して，悪性腫瘍に対する化学療法を選択的有効性を追求する予定である。

2. 学会報告

1) 藤卷雅夫，曾我淳，杵淵宗作，佐々木公一，田中乙雄，川口正樹，小柳隆介，斉藤六温，沢田洋一，鈴木力，武藤輝一：食道胃接合部癌に対する手術の検討，第30回胃癌研究会，1978. 1，鹿児島。

2) 藤卷雅夫：食道癌のX線診断，日本胸部外科学会関西地方会学術セミナー，1978. 2，大阪。

3) 田沢賢次，藤卷雅夫，田島健三，曾我淳，武藤輝一：新規約から検討したstage, 深達度，リンパ節転移別の5年生存率，第8回大腸癌研究会，1978. 2，東京。

4) 藤卷雅夫，川口正樹，沢田洋一，田中乙雄，佐々木公一，曾我淳，武藤輝一：我々の一期的食道

癌根治手術術式と術後管理について，第11回日本消化器外科学会総会，1978. 2，千葉。

5) 藤卷雅夫，斉藤寿一，真保俊，麓耕平，田沢賢次，伊藤博，田近貞克，武藤輝一：食道における平滑筋腫，第31回日本消化器内視鏡学会，第35回日本消化器病学会（合同北陸地方会）1978. 4，金沢。

6) 田沢賢次，藤卷雅夫，斉藤寿一，藤田敏雄，宗像周三，坂本隆，伊藤博，小島陽一：直腸粘膜下造影について，第31回日本消化器内視鏡学会，第35回日本消化器病学会（合同北陸地方会）1978. 4，金沢。

7) 藤卷雅夫，高橋浩，川口正樹，相場哲朗，大沢義弘，小柳隆介，佐々木公一，岩淵真，武藤輝一：食道癌手術前後の栄養管理，第24回食道疾患研究会，1978. 5，新潟。

8) 藤卷雅夫，田中乙雄，大溪秀夫，斉藤六温，沢田洋一，斉藤寿一，佐々木公一，川口正樹，曾我淳，武藤輝一：表層拡大型食道癌症例の検討，第24回食道疾患研究会，1978. 5，新潟。

9) 田沢賢次，藤卷雅夫，田島健三，曾我淳，武藤輝一：直腸癌，S状結腸癌の下腸間膜動脈根部結紮例の検討，第78回日本外科学会総会，1978. 4，福岡。

10) 田沢賢次，藤卷雅夫，伊藤博，田島健三，曾我淳，武藤輝一：ストーマ管理と皮膚保護剤，第12回日本消化器外科学会総会，1978. 7，弘前。

11) 田沢賢次，藤卷雅夫，工藤進英，田島健三，曾我淳，武藤輝一：Ai, Si 例の合併切除5年経過例の検討，第9回大腸癌研究会，1978. 7，大阪。

12) 藤卷雅夫，工藤進英，田沢賢次，曾我淳，田島健三，武藤輝一：直腸癌におけるリンパ節転移と予後からみた上方郭情について，第9回大腸癌研究会，1978. 7，大阪。

13) 藤卷雅夫，鈴木力，曾我淳，川口正樹，佐々木公一，沢田洋一，小柳隆介，斉藤六温，杵淵宗作，武藤輝一：早期胃癌に対するリンパ節廓清度と予後，第31回胃癌研究会，1978. 8，札幌。

14) Sasaki, K., Soga, J., Kawaguchi, M., Tanaka, O., Lee, K., Fujimaki, M. and Muto, T.: Clinicopathological evaluation on esophageal reconstruction utilizing a gastric tube and pedicled colonic segment., The 5th World Congress of the Collegium Internationale Chirurgiae Digestivae., Sept., 1978, Sao Paulo, Brasil.

15) Soga, L., Fujimaki, M., Sawada, Y., Saito, J. and Muto, T.: The remote results of

gastric cancer surgery in the past 20 years., The 5th World Congress of the Collegium Internationale Chirurgiae Digestivae., Sept., 1978, Sao Paulo, Brasil.

16) 藤巻雅夫, 伊藤博, 田沢賢次, 斉藤寿一, 真保俊, 川口正樹, 佐々木公一, 田中乙雄, 曾我淳: 食道噴門部癌の外科(シンポジウム)第40回日本臨床外科学会総会, 1978. 9, 札幌.

17) 藤巻雅夫, 沢田洋一, 田中乙雄, 佐々木公一, 川口正樹, 曾我淳, 武藤輝一: 食道癌術後の社会復帰に関する検討, 第40回日本臨床外科学会総会, 1978. 9. 札幌.

18) 藤巻雅夫: 食道癌切除術(シネシンポジウム)第31回日本胸部外科学会総会, 1978. 10, 長崎.

19) 藤巻雅夫, 佐々木公一, 大溪秀夫, 杵淵宗作, 沢田洋一, 田中乙雄, 川口正樹, 曾我淳, 武藤輝一, 食道癌術後無気肺形成に対する間歇的陽圧呼吸(I PPB), 持続陽圧呼吸(PEEP)の予防効果, 第31回日本胸部外科学会総会, 1978, 10, 長崎.

20) 藤巻雅夫, 川口正樹, 斉藤六温, 小柳隆介, 田中乙雄, 佐々木公一, 曾我淳, 武藤輝一: 食道癌手術後療法の評価, 第31回日本胸部外科学会総会, 1978, 10, 長崎.

21) 藤巻雅夫, 杵淵宗作, 大溪秀夫, 鈴木力, 沢田洋一, 田中乙雄, 佐々木公一, 川口正樹, 曾我淳, 武藤輝一: 食道癌に対するBy-pass手術症例の検討, 第30回日本気管食道学会, 1978. 10, 金沢.

22) Tazawa, K., Fujimaki, M., Soga, J. and Muto, T.: Results of the ligation of the inferior mesenteric artery at the origin in resection of rectal carcinoma., The 7th Biannual Congress of International Society of University Colon and Rectal Surgeons., Oct., 1978, Kyoto.

23) 斉藤寿一, 梨本篤, 斉藤六温, 小柳隆介, 沢田洋一, 曾我淳, 武藤輝一: 胃カルチノイドの3例, 第14回日本消化器内視鏡学会甲信越地方会, 1978. 8. 福井.

24) 藤巻雅夫: 食道癌切除症例に対する術前, 術後合併療法の評価について, 第3回制癌問題研究会, 1978. 12, 金沢.

25) 斉藤寿一, 藤巻雅夫, 伊藤博, 田沢賢次, 真保俊, 麓耕平, 沢田洋一, 斉藤六温: 胃癌に対する術後補助免疫化学療法について, 第3回制癌問題研究会, 1978. 12, 金沢.

26) 伊藤博, 川口正樹, 鰐淵勉, 阿部要一: 肝門部胆管癌の一切除例について, 第27回新潟消化器病同好会, 1978. 2, 新潟.

27) 関矢侑, 市井吉三郎, 藤巻茂夫, 伊藤博: 十二指腸乳頭部早期癌の1例, 第206回新潟外科集談会, 1978. 5, 新潟.

28) 清水武昭, 伊藤博, 平沢由平, 太田政広, 吉田奎介: 高度腎障害を伴った胆のう癌の1手術例の検討, 第28回新潟消化器病同好会, 1978. 7, 新潟.

29) 伊藤博, 吉田奎介, 武藤輝一: 上部胆管癌の切除例について, 第14回胆道疾患研究会, 1978. 8, 千葉.

30) 伊藤博: 閉塞性黄疸の外科治療——胆道系悪性腫瘍を中心に——, 第4回リバーカンファランス総会, 1978. 9, 新潟.

3. 原著

1) 藤巻雅夫: 食道癌の外科的治療の現況について——われわれの切除例を中心として——, 新潟医学会誌 92(3): 153-159, 1978.

2) 藤巻雅夫, 曾我淳: 腹部食道に浸潤を認める噴門癌. 外科. 40(3): 235-242, 1978.

3) 藤巻雅夫, 伊藤博, 田沢賢次, 斉藤寿一, 真保俊, 川口正樹, 佐々木公一, 田中乙雄, 曾我淳: 食道癌に対する術前合併療法. 臨床外科 33(9): 1271-1278, 1978.

4) 藤巻雅夫: 食道癌に対する合併療法2術前併用について. 日胸外会誌 26(3): 345-346, 1978.

5) 藤巻雅夫, 伊藤博, 田沢賢次, 斉藤寿一, 真保俊, 川口正樹, 佐々木公一, 田中乙雄, 沢田洋一, 曾我淳, 武藤輝一: 食道癌治療の現況・手術とその問題点——大腸を用いた再建術——. 外科診療 20(10): 1204-1210, 1978.

6) 藤巻雅夫, 小林清男, 伊藤博, 田沢賢次, 斉藤寿一, 真保俊, 沢田洋一, 田中乙雄, 佐々木公一, 川口正樹, 曾我淳, 武藤輝一: 外科領域の困難症・逆流性食道炎. 外科 40(11): 1134-1140, 1978.

7) 曾我淳, 佐々木公一, 杵淵宗作, 田中乙雄, 川口正樹, 武藤輝一, 藤巻雅夫: 食道・胃接合部癌に対する横隔膜切開左開胸腹術. 日外会誌 79(9): 1228-1231, 1978.

8) 吉田奎介, 高野征雄, 堤敬一郎, 菅野鑑一郎, 本間憲治, 阿部要一, 川口英弘, 村山裕一, 清水武昭, 塚田一博, 武藤輝一, 伊藤博: 手術成績からみた特発性門脈圧亢進症の治療方針の検討. 新潟医学会誌 92(7): 478-480, 1978.

9) 吉田奎介, 吉岡一典, 武藤輝一, 伊藤博: 肝硬変合併肝癌に対する外科治療——門脈枝結紮を中心に——. 日外会誌 79(8): 633-637, 1978.

10) 清水武昭, 吉田奎介, 伊藤博, 堤敬一郎, 吉岡一典, 金沢信三, 高野征雄, 阿部要一, 菅野鑑一

郎, 本間憲治, 川口英弘, 村山祐一, 塚田一博: 肝障害患者の術前術後におけるラクツコース投与の経験. 臨床と研究 55(10): 3300-3304, 1978.

11) 吉岡一典, 吉田奎介, 清水武昭, 金沢信三, 高野征雄, 阿部要一, 本間憲治, 武藤輝一, 伊藤博: 原発性肝癌の治療成績——切除不能肝癌に対する門脈枝結紮例を中心として——. 臨床外科 33(10): 1469-1476, 1978.

12) 田沢賢次, 阪本恵子, 島田寛治: 人工肛門受術者の医療保障. 看護展望 3(8): 43-57, 1978.

13) 田沢賢次, 阪本恵子: 人工肛門における浣腸療法時の注入液量の速度. 看護実践の科学 3(1): 46-50, 1978.

14) 高木隆治, 田沢賢次, 田島健三, 島田寛治, 阪本恵子: 人工肛門造設者における排尿障害について(第1報・アンケート報告を中心に). 新潟医学会誌 92(9): 602-611, 1978.

15) 田島健三, 曾我淳, 武藤輝一, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 教室の結腸癌手術成績——左半結腸癌を中心として——. 新潟医学会誌 92(1): 57-60, 1978.

16) 斎藤寿一, 小林清男, 曾我淳: 胃adenocarcinomaの一例. 外科症例 2(9): 661-663, 1978.

4. 著書

藤巻雅夫, 小林清男, 武藤輝一: 胃全摘と再建術式. 今日の臨床外科(第7巻)123-144頁, メジカルビュー社, 1978.

整形外科学

教授 辻 陽 雄
助教授 玉 置 哲 也
助手 山 田 均
助手 小 林 健 一

1. 研究概要

教室における研究主題は脊椎脊髄外科であり, これに関連する基礎的臨床的研究を展開しつつある。現在行なっている基礎的研究にあっては誘発脊髄液による脊髄機能の解析と障害予防に関する研究, 各種末梢神経損傷, 脊髄障害における微小循環と機能回復, 末梢神経partial lesionに関する修復法と神経再生に関する基礎的問題等でありこれらは開設年度すでに着手している。

臨床にあっては, いわゆる low back pain syndrome の病態に関する解析, 脊椎老化の実相と対策, 脊椎外科手術法の技術開発などを行なってきた。

昭和54年度より新教員の着任に伴い, これに加えて骨肉腫診断に対する診断用 myosine の開発研究, 椎間板組織奇形と椎間板ヘルニア発生との相関性, および微小循環生理よりする四肢長管状骨成長のコントロール等を計画し, 目下準備中である。

2. 学会報告

1) 磯辺啓二郎, 山田均, 辻陽雄: 腰部の硬膜内椎間板ヘルニアの3症例, 第50回中部日本整形外科学会, 1978. 4, 大府。

2) Tsuji, H., Yamada, H., Itoh, T., Hosaka, E. and Isobe, K.: Anatomical and clinical considerations on lumbar spinal stenosis, cauda equina laxity and its significance., XIV World Congress of Sicot, Oct., 1978, Kyoto.

3) Itoh, T., Tsuji, H., Tamaki, T., Yamada, H. and Toyoda, A.: Clinical consideration of the dissociated motor loss syndrome (keegan), XIV World Congress of Sicot, Oct., 1978, Kyoto.

4) 玉置哲也, 山田均, 辻陽雄, 中川武夫, 小林英夫: 脊髄障害高位スクリーニングを目的とした傍脊柱筋々電図検査について, 第51回中部日本整形外科学会, 1978. 11, 金沢。

5) 山田均, 辻陽雄, 玉置哲也, 小林健一, 鎌田栄, 伊藤達夫, 西能竝, 吉岡勉: 腰部癒着性脊髄膜炎について, 第51回中部日本整形外科学会, 1978. 11, 金沢。

6) 玉置哲也, 山田均, 辻陽雄, 小林英夫, 中川武夫, 豊田敦: 誘発脊髄活動電位の基礎的検討, 第8回日本脳波, 筋電図学会学術大会, 1978. 10, 金沢。

7) 小林英夫, 中川武夫, 井上駿一, 玉置哲也, 山田均: 誘発脊髄活動電位・その臨床応用における二, 三の知見, 第8回日本脳波, 筋電図学会学術大会, 1978. 10, 金沢。

8) 辻陽雄, 玉置哲也, 山田均, 小林健一: 斜側腹切開による腰椎々体間固定術(映画), 第595回千葉医学会整形外科例会, 1978. 12, 千葉。

9) 玉置哲也, 山田均, 小林健一, 辻陽雄, 小林英夫, 中川武夫: 誘発脊髄電位の波形分析とその新知見について, 第595回千葉医学会整形外科例会, 1978. 12, 千葉。

10) Tamaki, T.: Prevention of iatrogenic spinal cord lesions., XIV World Congress of Sicot, Oct., 1978, Kyoto.

11) 鎌田栄, 藤井保寿, 小林健一, 辻陽雄, 西能竝: Pseudoachondroplasia とされる一例, 第595